
千の刃と千の銃弾

ちゃんこう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

千の刃と千の銃弾

【Nコード】

N1611Z

【作者名】

ちゃんこっ

【あらすじ】

平和な日の突然の終わり。

神は人間を殺し、ゾンビとして自分の奴隷として扱おうとする。

そんな、神を殺す人間たちの下剋上。

（注意）主人公と敵主人公はチート並みの強さです。

主人公、ヒロイン、敵主人公、敵ヒロインの視点を変えながら書いていきますのでご了承ください。> m () m <

刃と魔界（前書き）

今回は、千歳大樹ちとせ だいき視点です

刃と魔界

【魔界】

一か月前までは平和だった・・・

魔法使いが攻撃魔法を使うような日はなかった・・・

人が魔物を切るような日なんてなかった・・・

銃使いが、人を撃つことはなかった・・・

なのに・・・

ある日・・・平和な日常は一瞬して、無くなった・・・

神が舞い降り、人を殺す・・・

そして、殺して使える奴はゾンビとして使う・・・

地獄だ

そして、人間が神を殺す時代 神が人間を殺す時代が始まった

俺、千歳^{ちとせ} 大樹^{だいき}も学生ながら戦っている

？「はあはあ、こっちには誰もいなかったよ」

大樹「そうか」

背が低く金髪でショートカットで目が赤色の女の子

こいつの名は、柊^{ひこいぎ} 真奈^{まな}

俺の幼馴染だ

俺達はこの魔界から脱出するために旅をしている

大樹「じゃあ、ここには用はないな、出るぞ」

真奈「ちよつと、待って・・・」

息を切らしている

そんなに遠くまで見てこなくていいのに・・・

大樹「わかった、休憩だ。ゆっくり休め」

真奈「ご、ごめん」

俺達はまだ人間だ

ゾンビにはなっていない・・・

後、どれだけ俺達が生き残れるだろう・・・

この魔界で・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1611z/>

千の刃と千の銃弾

2011年12月5日20時53分発行